

[うえる]

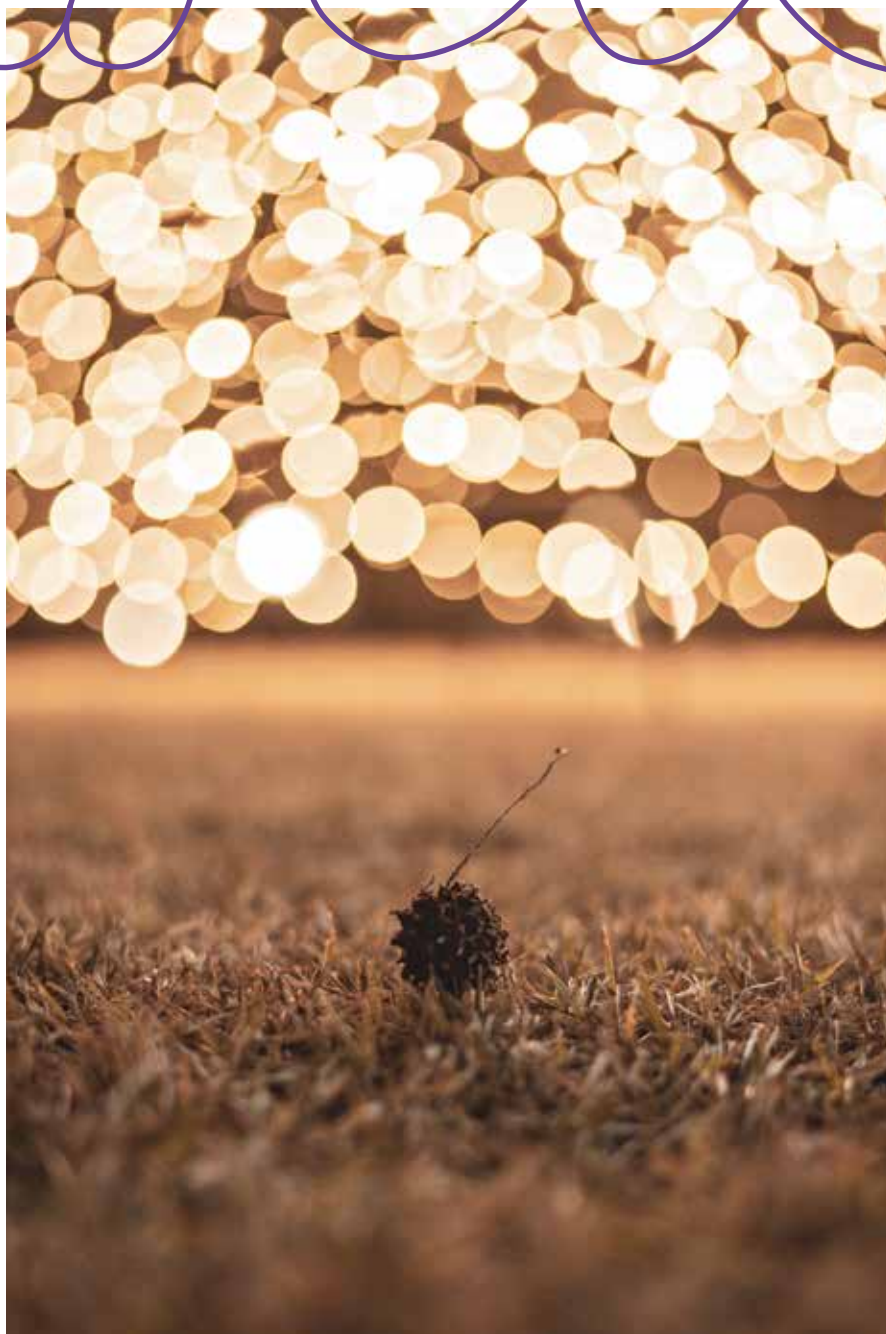
Vol.17

2026  
Winter

Take Free

特集

アルコール依存症者の回復に寄り添う



社会医療法人ましき会

益城病院

MASHIKI HOSPITAL

## Contents

巻頭言	1
堀田孝一氏講演会	2
第47回日本アルコール関連問題学会熊本大会に参加して	3
患者さんと歩む日々からの学び	4
秋晴れのオータムフェスタ	6
益城町総踊り	7
地域の高齢者を支えるオレンジサロン	8
院内学会	9
わたしのイチ推し！	10
「のーとUMEらいん」運行！／けんこうUPレシピ	11
ましきの風の手作りグッズをご紹介します！	12
研修と院内勉強会／病院行事・実習生受入実績／診療実績	13

## 基本理念

### Our Philosophy

社会医療法人ましき会は、患者さんとそのご家族に対し、最善のプロフェッショナルサービスを提供し、精神科医療の責任ある担い手として、地域の医療・福祉・文化に貢献します。

## 患者さんの権利と義務

### Patient Rights And Obligations

1. すべての個人情報を守られます。
2. 医療上の情報について十分な説明を受けることができます。
3. 医療行為について自ら選択することができます。
4. ご自身の負担で、他の医療機関の医師の意見を聞くことができます（セカンドオピニオン）。
5. いかなる場合も人格的に尊重され、平等な医療を受けることができます。
6. 適切な医療のために必要な情報を伝え、主体的に治療に参加してください。
7. 病状の改善及び共同生活を維持するため、規則や指示を守ってください。
8. 医療にかかった費用を支払う義務があります。

## 職員の倫理

### Ethics Of Staff

1. 益城病院の基本理念・行動指針を自己の行動規範とします。
2. 医の倫理を踏まえ、患者さんの権利を尊重し、希望のもてる医療を行います。
3. 仕事に誇りを持ち、全ての患者さんに公平・平等な医療を行います。
4. 質の高い医療を提供するため、自己啓発に努め、自身の健康増進に努めます。
5. 温和で謙虚、協調と礼節を重んじ、患者さんや地域からの信頼を得よう努めます。

## 5つの誓い

### Five Oath

1. 私達は、精神科医療を通じて社会貢献に努め、社会医療法人としての公益的使命を果たします。
2. 私達は、こころを病む人々に対し、尊厳を損なうことなく、心身の健康づくりに努めます。
3. 私達は、こころを病む人々が、地域で安心して暮らせる環境づくりに努めます。
4. 私達は、お互いの立場を尊重し、働きがいのある職場づくりに努めます。
5. 私達は、医療の質を高めるため、日々、自己研鑽に努めます。



いのあろう

## || 猪野亜朗先生とSBIRTS

理事長・副院長  
松永 哲夫

いのあろう

猪野亜朗先生は、三重県で長い間アルコール（AL）医療に関わってこられた先生です。「関わって」と言いましたが、本当はそんな生易しいものではなく、兼業先の診療所の収益でAL症者用の共同住居を運営したり、三重県・愛知県のAL医療連携に奔走されたり、ほとんど全身全霊、減私奉公的な社会貢献を続けてこられた先生です。私は1991年の日本AL関連学会熊本大会で先生の話聞いて以来、私淑しております。

2010年、ALは健康のみならず家庭や社会においても有害性が増大していたため、WHOは世界各国に対して「AL有害性低減戦略」を提言して、日本にも何らかの行動を迫りました。政府も学会も動かない中、先生は長年温めておられたAL基本法の構想を実現すべく、2つのAL関連の学会と各種団体（AL市民問題研究会、全日本断酒連盟 他）間を走り回り賛意をまとめ上げ、情報交換及び準備の場としてAL法ネットを立ち上げ、多くの機関が協力した結果、2013年12月にアルコール基本法が国会で成立しました。さながら“幕末の薩長連合における坂本龍馬”のような躍動ぶりでした。

その後、法に沿って基本計画が練りあげられていく中で、猪野先生は基本法の核心とも言うべきSBIRTSを提唱されました。これは、米国のSBIRT [Screening (スクリーニング), Brief Intervention (簡易介入), Referral to Treatment (専門治療への紹介) という薬物依存症者に対する簡易治療連携システム] に、Self Help Group (断酒会、AA等の自助グループ) を追加されたものです。「画竜点睛」というか、AL症の治療連携システムとして「魂の補完」ができたと思われました。言うなれば、猪野先生のSBIRTSは、坂本龍馬の「船中八策」と思われます。

いずれにしても、当院のAL症の治療は、猪野先生の示された方針に沿って、単に酒をやめて身体的な健康を取り戻すだけでなく、精神的な健康（うつ状態からの回復、健全な自己愛の回復）や、社会的な健康（家族をはじめ人間関係の修復、孤独からの回復）なども視野に入れて、今後も取り組んでいこうと考えております。

## 堀田 孝一氏講演会 聴講を機に断酒について考える



精神科デイケア 精神保健福祉士

### 木原 正司

当院の「風のテラス」で9月26日、熊本県断酒友の会八代支部の堀田孝一氏の講演会が開催され拝聴する機会を得ました。「しめくりの春」と題した講演は、予定の30名をはるかに超える50余名のスタッフが集まり、関心の高さを感じました。

長年アルコール依存症と向き合ってきた堀田氏は、断酒を続けて35年になります。今年4月に出版された詩集「猩猩(しょうじょう)記」には、酒によって人生が大きく深く揺さぶられた体験が、静かに時には鋭く綴られています。詩にある余白は、読み手の想像力を解き放ち新たな景色を描かせてくれます。体験談「鞆(ブランコ)」では、酒を飲み続けてしまう苦しみの中で、それでも金を掻き集め、小銭をポケットに入れて酒屋まで走る姿が描かれています。乾いた脳に酒が沁みわたる一瞬の救い、その後に押し寄せる深い絶望。地獄をさまよう餓鬼のようだと生々しく紡いでいます。堀田氏の語る言葉には感情や風景が宿り、体験談の中に、まるで映画を観た後のような余韻が残り、人の心を揺さぶる言霊を感じます。回復者の物語には「絶望」と「希望」があり、医学書では得られない気づきがあると思いました。

回復は、本人だけでなく家族や周囲と共に歩む道です。依存症は孤立の病と言われますが、依存症の対義語は「つながり」といわれるようになりました。自分は一人ではない。支えてくれる仲間がいる。断酒を続ける力は、誰かの物語に出会うことで生まれるのかもしれませんが。今回の講話会は、アルコール依存症拠点病院として回復を支える私たちスタッフ自身が、回復者の物語に触れる貴重な機会となりました。これからも患者さんを支援していく場を広げていきたいと思います。



※堀田孝一氏は、前作の詩集「匂う土」で2005年H氏賞の受賞候補に選ばれ、また今回の「猩猩記」では、2025年の熊日文学賞の候補に選ばれました。

## 第47回日本アルコール関連問題学会熊本大会に参加して 人とのつながりが依存症を癒す



A(精神科救急急性期)病棟 看護師

石塚 久子

児童、思春期のアディクションの話の中で、松本俊彦先生は、自己治療仮説について語られました。子ども達が、過酷な生活環境や虐待、学校でのいじめなどによって、いつの間にか「自分はいらない存在、消えたい、死んでしまいたい」という気

持ちを持ちながら勉強しなければいけないこと。薬物が手放せないということを裏返せば、その薬物のおかげで辛い気持ちが緩和され、自殺しないですんだ、死を回避できたという側面です。また、依存症の中心には「痛み」がある、薬物依存症者は孤独であり、ダルク※や自助グループの中で、正直に「やりたい」「やっちゃった」と言える場所が見つかることが、孤独から回復する一歩であるという話がありました。

向陽台病院の辻翔太先生は、1日10時間以上のゲームがやめられない子ども達に、脱依存を目指す1泊2日の「オフラインキャンプ」を行っているという話をされました。そこでは携帯やゲームの持ち込みは不可。1日目のリアル脱出ゲームは、参加者1人ひとりが物語の主人公となり、チームで協力して試練を乗り越え、謎を解き明かしてストーリーの解決を目指す体験型イベント、2日目はみんなで協力してカレーを作ります。その中で、子ども達は自分の居場所を見つけ「リアルも捨てたもんじゃない。人と関わるのもいいな」と思えるとのこと。改めて、依存症は、人とのつながりの中で回復していく病気なのだと学びました。

※ダルクとは薬物依存症から回復し社会復帰を目指す民間リハビリ施設のことで、英語の「Drug Addiction Rehabilitation Center」の頭文字を組み合わせたもの。

# 患者さんと歩む日々からの学び

---



看護師 江邑 由香里

## 断酒会、通院、抗酒剤を3本の柱として

アルコール依存症のユニットに配属になり7年になりますが、一人ひとりの体験を聞くにつれ、この病気の大変さ、治療の難しさを痛感します。なんとか断酒してほしいという思いを打ち砕かれることが多く、あきらめの気持ちと自分の未熟さ無力さを感じることも多々あります。「今度こそやめるけん」「もう飲みたいと思わん」という言葉をよく聞きますが、退院の帰り道に飲酒をする人、嫌なことから逃げたくて飲む人、驚くほどのスピードで再飲酒をするケースが多いのも事実です。それでも、断酒会、通院、抗酒剤の3本柱が重要であることを根気よく伝え、回復の手助けを続けていきたいと思います。

## 断酒の厳しい現実に向き合いながら

アルコールユニットに配属され5年になります。新たな患者さんと出会ったり、退院してからも断酒を頑張っている姿を見てやりがいを感じることもありますが、上手く断酒に繋がっていく人はほんの一握りであるのも現実です。何度も入退院を繰り返す方や退院後も飲酒を続ける方、訃報を聞くこともあり、悲しく複雑な気持ちになります。アルコール依存症という病気は完治できないが回復はできる病気です。その希望を忘れず、これからも一人一人に向き合いながら、自分自身のできる看護を行っていききたいと思います。



看護師 碓井 常仁



精神保健福祉士 岩谷 優

## 依存症の深い悩みに寄り添う

この4年、印象に残っている事としては、患者さん宅の酒瓶を一緒に片づけたり、これから住む家探しや家電の購入を手伝ったこともあります。また、家族会を担当し、様々な話を聞きました。聞いたたびに何とか援助の方策はないかと思い、福祉サービスの紹介をしたこともあります。断酒の道は遠く、難しい病気であることを痛感します。入院期間は3ヵ月です。家族の悩みは深く苦労は多いだろうと思います。家族会に参加された際は、話づらい悩みや苦労などをお聞かせいただき、その思いを共有することで、微力ながら一助になればと思います。

A(精神科救急急性期)病棟アルコールユニットで働くスタッフに、患者さんたちの回復に寄り添う思いなどを語ってもらいました。



看護師 甲斐 優希

### アルコール依存症の深刻さを痛感

もともと依存症に興味があり、益城病院がアルコール依存症に力を入れていることを知り、志願して担当になりました。そして、患者さんの酒歴作成を行う中で、アルコール依存症とは否認の病気と言われるわけが少しずつですが分かるようになりました。他者の酒歴や酒害を聞きながら自身を振り返ることから始め、家族や周囲へどれほどの影響を与えてきたのかを考え、一人ひとりが断酒への道しるべを見出していくことの大切さを実感します。また、最初の1杯が連続飲酒へとつながるといった依存症の恐ろしさも感じます。多くの依存症の方が一日断酒を継続していけるよう、AIプログラムや研修を通して共に学びながら、家族やメンバーの方たちと支え合っていければと思います。

### 断酒の継続を支えられる看護を目指す

他の病棟でもアルコール依存症の方々と関わることはありましたが、1年間、専門のA病棟アルコールユニットで患者さんと深く関わる中で多くの気づきがありました。回復までの道のりの難しさを感じることもありますが、退院後も断酒を継続し、例会に参加されている姿を見ると大きな励みになります。今後も、アルコール依存症に伴ううつ症状や不眠、家族問題など患者さん一人ひとりの状況に合わせた関わりを大切にしながら、チームの一員として学びを深め、患者さんの回復に寄り添える看護を実践し支援していきたいと思います。



看護師 小路 千洋



看護師 石塚 久子

### 患者さんを孤立させないために

アルコール依存症は孤立の病です。なので、何かあったら電話するように患者さんに伝えていきます。悩んだ時、不安な時、怒りを感じた時など、話すことで悶々とした気持ちが治まり、100のストレスを70くらいに減らせたらと思います。しばらく雑談して笑いが起きると、そこで落ち着く方もいます。担当スタッフになって9年目ですが、先日、4年前に退院した患者さんと話した時、「今もトランプをしていますか？あれで団結力が生まれた気がします」と言ってもらえました。夜勤の時に、時間があると患者さんと一緒にトランプをしますが、会話が弾んで笑い声も聞かれます。仲間とつながるきっかけになったら、と思っています。



# 秋晴れのオータムフェスタ

総務課 高濱 朋基

毎年大人気!

犬飼会長の挨拶で始まり、渡邊院長の挨拶で閉会となったオータムフェスタ。心地よい秋晴れの中、多くの方々の参加があり、会場内は賑やかな雰囲気にもまれて無事終了しました。

今回は、熊本で有名なモッチャン(本橋馨さん)の軽快なトークがあり伝説のコーナー「めくってハイ&ロー」の復活で一気に会場が湧きました。また、秋祭り恒例の大抽選会は、何と言っても盛り上がり最高!「モッチャン一番」が発表され、敗者復活戦も準備され、この日一番の盛り上がりとなりました。キッチンカーや模擬店などの出店も多く笑顔が溢れ、心温まるひとときを過ごしていただけたと感じています。今後もさらに地域交流に取り組んでいこうと思いました。



犬飼会長による開会の挨拶



職員手作りの千本つりは子どもたちに好評でした



毎年大人気の抽選会  
ましまるもお手伝いしました



ましきの風ミニマルシェも開催



本橋さんによるあの有名な「めくってハイ&ロー!」



約10店舗の屋台やキッチンカーにお越しいただきました



大好評だった野菜の詰め放題



会場の体育館では食事を楽しみながらステージをご覧になる方々でいっぱいでした



沖吉恵江さんによる童謡ステージ「ましまるの唄」に合わせて踊りも披露



菊陽武蔵剣豪太鼓は総勢24名による圧巻の演奏  
力強いリズムと一体感で秋祭りを盛り上げてくれました



ステージ上で風船をひねり動物や人気キャラクターを自由自在に作るバルーンパフォーマンス



渡邊院長による閉会の挨拶



特別養護老人ホーム「花へんろ」でも秋祭りを同日開催し、沢山の来場者で賑わいました



10月25日、恒例の「益城町みんなの秋祭り」の総踊りに当院から20名のスタッフが参加しました。秋の夕暮れにお揃いの法被を着用し、「益城育ち」「益城小唄」の音楽に合わせて町内の方々と一緒に踊りました。ましまるは初参加で、一生懸命踊っていました。その後、子どもたちに大人気で写真撮影の列もできるほどでした！町内の皆さんと一体感のある行事に参加できたことを嬉しく思います。



# 地域の高齢者を支えるオレンジサロン

地域生活支援部 副部長 堀 光代

益城病院では、2016年の熊本地震以降、町内3カ所（福富・下砥川・市の後）で認知症カフェ「オレンジサロンいきいきカフェ」を開催しています。この取り組みは、“認知症になっても安心して暮らせる”ことを目標に、認知症の人やその家族、また高齢の方々が参加することで、地域社会からの孤立を防ぐことを目的としています。福富地区のオレンジサロンは一昨年度より、下砥川地区のオレンジサロンは本年度から、「チームオレンジ」として活動を強化しています。



夕暮れサロン。年4回開催し、この日は芝生広場で益城町消防音楽隊による演奏を楽しみました。



下砥川でのおばあちゃんの料理教室。毎回おふくろの味を教えてもらっています。

10年近く続く活動ですが、本年度、そんな「オレンジカフェ」の功が評価され、県庁プロムナードで開催された「くまもとオレンジフェスタ」で木村知事から功労者表彰が授与されました。これを機に、益々地域の高齢者の方が安心して暮らせるまちづくりのお手伝いをしていこうと、ましまるをはじめ担当者一同、共に喜びを語り合いました。



ましまる憧れのくまモンと念願の2ショット！



犬飼会長が代表して県知事より表彰を受けました。

# 第15回 院内学会

『専門職として、私たちにできることを』  
～次につなげるために～

日時 令和7年12月6日(土) 9:45～15:30

場所 研修センターA・B 他ZOOM配信

## スケジュール

am	pm
9:45 開会の挨拶 【院長:渡邊 信夫】	14:00 特別講演会 演題「最終講義」 【会長 犬飼 邦明】
10:00 第1席 第2席 第3席 第4席	
11:30 総評 【院長:渡邊 信夫】	15:30 閉会の挨拶 【看護部長:梅田 亮一】
昼休憩	

## 取り組み発表

- ◆ 第1席  
発語不明瞭を呈する統合失調症患者に対する  
パタカラ体操とレクリエーションの効果  
【外来 看護師:永田 沙織】
- ◆ 第2席  
認知症高齢者に対する「ヘンダーソンの基本的  
欲求」に基づく看護介入による身体固定  
解除の一事例  
【D(認知症治療)病棟 准看護師:藤野 真実】
- ◆ 第3席  
火災により全てを失った患者の退院支援  
【A(精神科救急急性期)病棟 精神保健福祉士:無田 千穂】
- ◆ 第4席  
自閉スペクトラム症の長期入院患者に対する  
地域移行を促進する段階的セルフケア支援  
の実践  
【C(精神療養)病棟 看護師:平野 亜衣】

## 特別講演会

演題「最終講義」

会長 犬飼 邦明

今回、院内学会にあたり訪問看護の実践例について発表しました。統合失調症患者で会話やコミュニケーションに不安を抱える方に対し、訪問看護時に一緒に口腔体操やレクリエーションを行ったケースなど。また、一人暮らしで高齢となり誰かとコミュニケーションをとる機会も減り徐々に会話量が少なくなったのではないかとされる方の場合では、関わる中で、若い頃の話や好きな歌の話など話題が豊かになり会話量も増え、スタッフ皆が嬉しく感じたことなどを報告しました。症例を通して、訪問看護の実践を振り返る良い機会となりました。研究をまとめるにあたり、九州看護福祉大学精神看護学の上田智之教授をはじめ、外来担当の方々の的確なアドバイスがあり何とかまとめることができました。今回の学びを現場の訪問看護で活かしてまいります。

外来 看護師 永田 沙織



犬飼会長による特別講演

総評を述べる渡邊院長

当院スタッフがはまっているものなどを紹介するコーナーです。  
スタッフの意外性を新発見できるかも!?

# わたしのイチ推し!

紹介します。

Trip

## 暮らすように旅する、 民泊のススメ

医局 坂口 俊史



民泊は一般の住宅や部屋に宿泊できる仕組みで、旅館やホテルとは一味違った楽しみがあります。そんな民泊を今年初めて利用してみました。古民家や別荘などがあり、奥まった場所にあたり、その土地ならではの雰囲気新鮮でした。朝にはご近所さんが散歩や体操をしていたり、まるでその地域に暮らしているような感覚になり旅がぐっと身近に感じられます。我が家には小さい子どもがおり、時間や人目を気にしなくてよいのも嬉しい点です。ホテルや旅館のサービスにはない家主のあたたかさを感じ、のんびり、ゆっくりと家族だけの時間を満喫できました。今度はどんな家に泊まろうかと、今から次の旅が楽しみです。

Music

## 「私のひそかな楽しみ」

A(精神科救急急性期)病棟 本村 小百合



6歳の息子がヘッドホンをしているキャラクターを好きになったことをきっかけに、ヘッドホンを購入しました。元々音楽はイヤホンで聴く派でしたが、子どもが小さく目も耳も離せない状況だったので、しばらく控えていました。使用してみると、久しぶりに周囲の音を遮断し、流れてくる音だけに集中できる時間は至福のひとつでした。普段は車の中やテレビにYouTubeを映したりして音楽を聴いていますが、ヘッドホンで聴くとより生歌感がありました。聴き慣れていた曲でも「こんな音が入っていたんだ!」と新しい発見もあります。すっかりヘッドホンに魅了されて、家族が寝静まった後、ひっそり音楽鑑賞をするのが、私のひそかな楽しみです。

## 予約制乗合バス

# 「のる♡と UMEらいん」運行!

10月1日から、益城町役場が運行する予約制乗合バス

「のる♡と UMEらいん」の本格運行が始まりました。

これは従来のバスとは違い、時刻表や決まった運行ルートがない

『予約制の乗合バス』です。

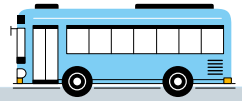
予約状況に応じて、AI（人工知能）が運行ルートを考えながら走行するものです。

乗降場所として益城病院もご利用いただけます。

76番のバス停となり、正面玄関での乗降ができて便利です。是非ご活用ください。

※ご利用の際は、事前予約が必要ですのでご注意ください。

詳細は益城町の公式サイトでご確認ください。



簡単に作れて美味しく、お年寄りや病気の方も食べやすく  
栄養バランスのいいメニューを栄養管理科スタッフがご紹介します!

## けんこうup↑レシピ



### 旬のフルーツで作るスイーツとフレッシュドリンク!



#### 《りんごとゆずのフライパンケーキ》

##### <材料>

・卵	1個	A	・小麦粉	100g
・牛乳	80cc		・ベーキングパウダー	4g
・りんご	1/2個		・砂糖	20g
・ゆず	1/2個			
・バター	10g			※Aの材料はホットケーキミックス
・砂糖	大さじ2			100gで代用できます。

##### <作り方>

- ①ボールに【A】、卵、牛乳を入れて混ぜる。
- ②ゆずの皮を千切りにし、果汁を搾り①に加えて混ぜる。
- ③フライパンにバターと砂糖を入れて中火にかけ、カラメル色になるまで煮詰める。5mm幅の薄切りにしたりんごを並べる。
- ④②を流し入れ、ふたをして弱火で10分焼く。お皿の上に裏返して完成!

#### 《みかんと生姜のホットドリンク》

##### <材料(1人分)>

・みかん	2個
・生姜汁	小さじ1
・はちみつ	小さじ1
・お湯	100cc

##### <作り方>

- ①みかんと生姜汁を横半分に切って搾り、果汁と他の材料を全部入れてよく混ぜる。
- ②電子レンジ500Wで30秒加熱すればでき上がり。

#### POINT

旬のフルーツを使って手軽に風邪予防! ゆずとみかんのビタミンCが免疫力を高め、生姜の効果で体も温まります。



「あひるのしっぽ」で制作したグッズは  
益城病院1階にある軽食・喫茶「風のテラス」で販売中です！



## ましきの風の手作りグッズをご紹介します！

就労継続支援B型事業所「ましきの風」 主任 前田 真有美・郷野 兼義

洗濯・軽作業「あひるのしっぽ」は、誰もが自分のペースで参加できる、あたたかい室内作業の場です。洗濯作業やギフトラッピングなどの軽作業を中心にを行っています。創作活動にも力を入れており、日々の作業から生まれる作品は、春に開催するマルシェでも披露しています。そんな作品の魅力をご紹介します。

### カレンダー

クラフト用紙に描いたデザインを刺繍糸で縫います。糸が絡まりやすく目が疲れやすい作業ですが、みんな頑張って取り組んでいます。



月ごとに刺繍のデザインが違うのがポイントです。



### 葉

クラフト用紙に糸で刺繍をしています。色々な柄や模様があり、とてもかわいく仕上がっています。本を読むのが楽しくなりますよ！



細部の玉止めなど小さい部分は丁寧に仕上げます。



### 日めくりカレンダー

様々な柄や季節のモチーフをクレヨンで模写しました。クレヨンは手につきやすく修正が難しいので、何度も練習して仕上げた方もいます。



### お薬手帳ケース

使わなくなった紙袋からできました。形を折り手縫いをし、出来上がったものにロウを染み込ませて完成！丈夫で長持ちします。



### ポチ袋

「もう少し大きく」との要望もあり、少し大きいサイズにしてみました。ちょっとしたお心づかいの際にご使用ください。



玉止めなどもデザインの一部分になっています。



マルシェに出すのが楽しみです！



# 研 修 と 院 内 勉 強 会

院 内		
9月	1日	看護補助者研修(アシスタント)
	10日	簡易血糖測定装置説明会(アークレイ株式会社)
	16・17・18・19日	第1回院内感染全体研修
	17日	新人看護師研修
	19日	救命救急研修(心肺蘇生法)
10月	20日	包括的暴力防止プログラム(CVPPP)院内研修①
	20日	看護補助者研修(看護師、准看護師)
11月	4日	看護補助者研修(アシスタント)
	13日	新人研修
	15日	包括的暴力防止プログラム(CVPPP)院内研修②
	19日	大塚製薬e講演会「うつ病のより良い治療について考える」
	19日	益城病院及び地域生活支援部合同虐待防止委員会研修会
	21・25・27日	第2回医療安全に関する職員全体研修会(医療安全全体研修)
	28日	認知症対応強化勉強会
	29日	D(認知症治療)病棟家族会
	30日	熊本県アメンストの会
	院 外	
9月	1日	エーザイ医療経営イノベーションセミナー(WEB:福島郁雄)
	2日	熊本県精神科救急情報センター研修会(金子真弓・本村小百合)
	5・6日	第47回日本アルコール関連問題学会(松永哲夫・渡邊信夫・大瀬一太・末永英士)
	5日	日精協第10回STANDARDコーススクール(山下美保)
	5日	精神科訪問看護コミュニケーションスキルUP研修(永田紗織・森下あずさ・鈴木田幸代)
	11日	第3回依存症治療に関わるスタッフミーティング(岩谷優)
	16・10月29日	済生会病院院外新人看護師技術研修(松本木羽・佐々木慎介・高村奈央稀)
	17日	大塚製薬e講演会「うつ病のより良い治療について」
	18・19・30日	熊本県新人看護職員研修責任者等研修【実地指導者】(汐月真由美・森内優華)
	18日	熊精協院長会・講演会(渡邊信夫)
	20日	熊本県看護協会主催 令和7年度看護師職能委員会研修「准看護師交流会」(藤山晴展)
	26日	熊本県精神障がい者家族大会(吉澤友希・吉田良子・西田奈月美)
	27日	令和7年度市民講座・医専連シンポジウム【講演】(遊亀誠二)
	28日	アクションフォーラム【研修】(松永哲夫)
	10月	1日
3日		第61回熊本県精神保健福祉大会(渡邊信夫)
6日		熊本県新人看護職員研修責任者等研修【実地指導者】(汐月真由美・森内優華)
8日		熊本県災害支援ナース派遣机上WEB訓練(梅田亮一)
16・17日		第33回日本精神科救急学会学術総会(渡邊信夫)
23日		日精協医療安全管理者更新WEB研修(山下義晴)
28・29・30・31日		包括的暴力防止プログラム(CVPPP)ステップアップ研修(榮永紘之)
30日		上益城地域自殺予防ゲートキーパー養成研修(田中美奈・蘭野あかね)
30日		益城病院認知症疾患医療センター講演会
31・11月1日		日本相談支援専門員協会全国研修会IN熊本(金子真弓・岩木瑞希)
11月	4日	Around56 Meeting【研修会】(末永英士)
	6・20日	日精協精神科医療スタッフWEB講習会(梅田亮一・山下義晴・伊津野智士・米村孝史・榮永紘之)
	6日	Kisunla Web Seminar【講演】(遊亀誠二)
	11~13日	第74回西日本認知症高齢者対策研修1日目(守永愛実)
	13日	認知症に関する研修会(大飼邦明)
	13日	第4回依存症治療に関わるスタッフミーティング【講演】(松永哲夫)
	14日	16回メンタルヘルス運動指導士・指導員資格認定講習会(湯原徹)
	14日	認知症に関する研修会(大飼邦明)
	15日	第23回日本スポーツ精神医学会総会・学術集会(湯原徹)
	18日	熊精協 事務局長会研修会(橋本久美・林田新吾・佐山千穂)
	19日	ケサツラ地域連携シンポジウム【講演】(遊亀誠二)
	21日	日精協医療安全推進WEBフォーラム(梅田亮一)
	21日	熊本県MSW協会益城ブロック研修会
22日	熊精協看護部小委員会精神看護初任者研修(永田紗織・鈴木田幸代・守永愛実・甲斐田美和・鶴池賢宏・徳永祐子・村上優子・研修運営:金子元子)	
22日	熊本県精神保健福祉士協会定例研修会(溝口成美・斉藤直人)	
27・28日	第70回九州精神医療学会(梅田亮一)	
28日	熊精協災害等における非常食提供訓練(湯原陽子・土屋博・西優華)	

## 実習生受け入れ実績

9月	熊本学園大学社会福祉学部精神保健福祉実習
	九州看護福祉大学看護学科看護臨床実習
10月	九州看護福祉大学看護学科看護臨床実習

## 診療実績

単位:人

区分	9月	10月	11月	
外来	外来患者延人数	3,163	3,335	2,736
	(うち新規患者人数)	53	43	49
	平均外来患者人数	126.5	133.4	130.3
入院	新入院患者人数	30	39	29
	退院患者人数	27	48	22
	在院患者延人数	5,654	5,759	5,604
	平均入院患者人数	188.5	185.8	186.8
	平均在院日数(単位:日)	198.4	132.4	219.8

## 病院等行事

2025年9月~11月

9月	13日	第3回グループホームふるさと家族会(敬老会・秋祭り)	
	13日	「熊本県認知症になっても安心して暮らせるまちづくり功労者」熊本県知事表彰	
	20日	益城町オレンジフェスタ参加/益城町地域共生センター	
	26日	【特別講演】堀田孝一氏「しめくくりの春」	
	26日	俳句クラブ習青会/喫茶ジャズミン	
10月	29日	グループホームふるさと夜間想定火災訓練	
	3日	いハウスX・XI・21・あんふあん消防・避難訓練	
	8日	益城病院夜間想定火災避難訓練	
	11日	文化部主催「池田啓子氏ギャラリートーク」	
	22日	第51回熊本県市町村精神科病院協会共催スポーツ大会参加	
	24日	俳句クラブ習青会/喫茶ジャズミン	
	25日	益城町秋祭り参加(職員20名)	
	30日	はなえみ保育園/ハロウィン仮装来院	
	11月	8日	益城病院秋祭り(オータムフェスタ)
		11日	広安小学校2年生職場見学/ましき童夢
14日		第32回ふれあいピクニック参加(DC利用者・コスモ入所者・引率職員)	
20日		第4回グループホームふるさと家族会・運営推進会議	
21日		俳句クラブ習青会/喫茶ジャズミン	
29日		D(認知症治療)病棟家族会	
30日	熊本県アメンストの会		

## 編集後記

益城病院に入職し、山が近く見え緑が多いことに気がつきました。慌ただしい生活の中で季節の変化に疎くなることもありますが、いつの間にか山が紅葉していたり、自然の変化に心が動かされます。院内の樹木や花々も季節を伝えてくれます。日暮れが早くなり、虫の声を聞いたり月を眺めながら、仕事終わりの贅沢な時間を過ごしています。来院の方にも心安まる景色を感じていただけたらと思います。

(広報委員:瀬上 裕)



黒川温泉の湯灯り



社会医療法人ましき会

# 益城病院

MASHIKI HOSPITAL

精神科・心療内科・小児科・歯科

〒861-2232  
熊本県上益城郡益城町馬水123

 **096-286-3611**

外来電話受付時間(月曜～金曜)  
午前 9:00～12:00 午後 13:30～17:00



### 付属施設

- 訪問看護ステーション
- 熊本県地域拠点型認知症疾患医療センター
- 共同生活援助事業所「iハウス21・XI」・共同住居「iハウスX」
- 院内保育施設「あんふぁん」
- 犬飼記念美術館  
「こころと心のミュージアム」
- 茶房茉莉花(ジャスミン)
- ひろやすクリニック  
内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・糖尿病内科
- 指定特定相談支援事業所・地域活動支援センター「アントニオ」
- 就労継続支援B型事業所「ましきの風」
- 宿泊型自立訓練事業所「コスモ」
- 高齢者グループホーム「ふるさと」
- 居宅介護支援センター

### 関連施設

- 特別養護老人ホーム 熊本県上益城郡益城町惣領1670 「花へんろ」 TEL 096-287-8706
- 養護老人ホーム 熊本県上益城郡益城町馬水45番地3 「花へんろ」 TEL 096-286-2075

表紙タイトル:Well(うえる) “植える”にちなみ地域に根を張り、健やかな生き方をサポートしたいという願いを込めています。  
表紙:院庭のイルミネーションに浮かぶアメリカ楓の実 撮影:大垣 健太郎(益城病院医療情報室職員)  
発行:社会医療法人ましき会 益城病院 広報委員会 発行日:2026年1月20日

ホームページは  
こちらから▶



Facebookは  
こちらから▶



Instagramは  
こちらから▶



益城病院

検索